

第35回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成28年12月7日
2. 開催場所 よこてイースト 会議室
3. 委員出席 委員総数 3名
出席委員数 3名

出席委員	鈴木 信好	委員長
	佐々木 隆一	委員
	菊地 清志	委員
欠席委員	岡部 えり子	副委員長
	土田 百合子	委員
	佐藤 誠一	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 8名

奥山 和彦	代表取締役社長
高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長／番組審議会事務局長
柴田 優子	編成制作部長
木匠 一公	支援室長補佐
鈴木 瀬菜	支援室
高橋 一親	支援室
細川 正実	営業部／番組審議会事務局

- (1) 8月課題審議 審議番組『語るべ！よこてのことばっこ』
(11月12日土曜日 午前8時30分～午前9時 放送分)
- (2) その他

4. 審議事項

- (1) ①審議番組『語るべ！よこてのことばっこ』について
- ・最後に横手の曲が流れるが、最後まで流れないと「横手」と出てこないで、そこまで曲が流れなかったのが残念。非常にいい曲なのでみなさんに聴かせたい。
 - ・語るべ！よこてのことばっこと言う割には秋田弁がでてこない。「どしめがす」「しが」くらい。独特のキャラクターなので、もっと方言を出したほうがいいのか？
 - ・横手のことばっこと言いながら、坂本さんの演劇をやるときの言葉が中心だと思った。雰囲気は地元を出しているが、知識として昔のおばあちゃんの言葉が出るかといえばそうでもない。若い人は「これが横手弁？」と思ってしまうかもしれない。
 - ・週末でやや心に余裕があるという人が多いと思われるので、方言を交えた話し口調と楽しい内容は、温かくほっとする。
 - ・聴き手の原田さんの合いの手「うーん」という反応とスピードと語調の小気味よさに好感をもった。それが、おじいさんと孫娘、村の物知りおじいさんと若い娘っ子の会話のようで、自分もそのなかにいるような親近感を感じた。

《会社側からの回答》

【小笠原放送局長】

- ・坂本さんも年齢も70を超えて、例えば、菊地委員と佐藤委員の印象ではまったく、「えー」という反応のスピードが孫娘とちょうどいいっていう場合もあるし、土田委員と佐藤委員の場合は「うーん」が多くて・・・というふたつの内容があったので、考慮しようにもしづらいところがある。まず、二人の雰囲気を壊すことなく、温かい感じでゆったりした、午前中の番組としてはちょうどいいのではないかと考えている。坂本さんにも引き続きこのいい番組を続けていただきたいので今後ともやっていただきたいと考えているので、皆様、今後とも聞いていただければと思う。
- ・ときめき横手の最後の名所ですね、たぶん番組も終わりの尺を合わせるために最後の曲で締めているのですが、まず編集でできる部分とできない部分がありなかなか難しいと思いますが、収録で時余裕のあったときなど別のところでときめき横手を、別の番組でかけるなど、いい曲を言っていたのでかけたいかなと思う。

(1) ②その他の放送番組について

- ・ランチ情報が盛りだくさんで、長くて、おなかいっぱいになってしまう。日変わりで数を減らせば、もっと聴いてもらえるのではないかと？あれは何分くらいあるのか？

【会社からの回答】

- ・13分から15分。以前も同様のご指摘を受けて、放送の順番を変えるなどして飽きられない工

夫をしている。

5. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 平成 29 年 1 月 10 日